

令和2年4月吉日

利用者・家族の皆様
関係機関の皆様

新型コロナウイルス感染症への対策のお知らせとお願い・第2弾

公益財団法人日本訪問看護財団立
あすか山訪問看護ステーション
統括所長 平原 優美

拝啓

平素から、あすか山訪問看護ステーションのサービスのご利用ありがとうございます。

皆様におかれましては、感染者の急増による不安や生活制限が長期化し、大変なストレスを抱えておられることと思います。これまで、ご利用者様・ご家族様、職員の新型コロナウイルス感染症の罹患を予防するために、皆様にはご協力いただいてまいりました。東京都の状況から今後、更に感染予防を強化していく必要を感じ、以下の点においてご理解のうえ、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

1. 訪問看護の前には窓を開けて換気をお願いいたします。

なるべく密室環境を改善するために、訪問看護師やリハビリ職員が訪問する前、訪問中は窓を開けさせてください。特に風は、ウイルスを一瞬で消失する効果もあり、1分間の管理は室内の空気は9割交換できます。

2. 訪問看護、訪問リハビリ中はできましたらマスク着用をお願いします

どうしても、会話をし、ケアやリハビリテーションをさせていただくには、近距離となってしまうます。お互いにマスクをしていると感染のリスクが下がります。

3. 職員は、「感染させない・もらわない」ためにガウンや手袋、ゴーグルをして訪問します。

東京都内は、感染ルーツ不明者が増え、いつだれが感染していてもおかしくない状況になっています。利用者様、ご家族様と職員が、双方にウイルス感染しないように、職員はしっかりした装備をさせていただきます。より、安心してケアを受けていただくための対策です。

以下の写真のように、玄関で、着用させていただきます。



ただし、外出支援やリハビリのための自宅外の散歩等では、ガウンではなく、当財団のロゴ入りのブルゾンなどで代用したいと思います。

重々しい装備に、ご不快なお気持ちになられることかと思いますが、なにとぞご理解、ご協力のほどをお願いいたします。

以上